

# 関西地域勉強会の活動

2022年9月22日(木)

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)  
関西地域勉強会

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 関西地域勉強会のご紹介



1. 名称：関西地域勉強会
2. 座長・副座長：座長/飯田清人、副座長/野原英則
3. 登録会員：58名
4. 運営委員：8名（梅田浩史、大館伸行、別役慎介、鷲山能雄、徳山英治、寅屋敷哲也、野原、飯田）
5. 活動内容：勉強会・ワーキンググループ、支部会・運営委員会
6. ワーキンググループ：BCバックグラウンドWG（田中主査）  
自分で企画するBCP訓練勉強会（梅田主査）
7. メンバー構成：企業BCP担当、IT関係、コンサル、医療・介護  
大学・研究機関、テーマパーク、報道、その他

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 関西地域勉強会の足取り

年度	主な活動内容	
2006年発足 (角座長)	関西・四国の約40名所属、メンバー間の情報交換・意見交換 大阪でのBCAO講演会支援、公開での意見交換会開催	多数の外部講演で発信
2007年	BCPセミナーin神戸（BCAO主催・神戸新聞社後援） 大阪市関係団体展示イベント出展、防災フェア2007inきょうと支援	
2008年	BCP基礎研修会（主催：関西広域機構）、徳島県企業防災ブラッシュアップフォーラム講演、和歌山県BCP策定支援セミナー	
2009年	和歌山県BCP策定支援セミナー	
2011年	奥村記念館見学（奥村組：奈良市）、大阪ステーションシティ見学・大阪駅帰宅困難者対策訓練参加、大和ハウス工業総合技術研究所見学	施設視察を実施
2012年 (川口座長)	3ワーキングスタート（事業継続戦略構築とビジネスインパクト分析WG、エネルギーWG、教育・訓練WG）、現地調査：淡路島復興調査・視察	3WGがスタート
2013年	現地視察：東日本大震災東北（2013年9月、12名） 和歌山県南部（2014年3月、9名）	東北現地視察
2014年 (萩原座長)	USJ視察（防災センター等施設見学、勉強会） ビデオ学習会開催（全13回、本部講演視聴、意見交換）	ビデオ学習会を実施
2015年	徳島県視察（徳島大学・地元企業との意見交換、徳島大学環境防災研究センター・大塚製薬工場等視察）	
2016年 (藤村座長)	熊本視察研修（熊本大学、生協くまもと、西原村福祉協議会など）	徳島、熊本、名古屋研修を実施
2018年	名古屋研修（名古屋地域勉強会、静岡地域勉強会合同） -名古屋大学減災館、名古屋市港防災センター視察	
2019年	新型コロナ	新型コロナ：WEB開催
2020年（飯田）	新型コロナ継続	
2022年	現在至る	

# 地域勉強会活動について（2021年10月～2022年9月）

開催	テーマ	講演者・世話人
2021年 10月	《関西主催：合同勉強会》 BCAO合同勉強会：マスコミ関係者が災害発生時に どのように報道を心がけているか	MBS毎日放送アナウン サー 福本 晋悟氏
11月	WEB訓練-関西支部版Ver3 事業継続編	梅田浩史氏、PJメンバー
12月	休会	
2022年 1月	近畿圏・上場企業における自然災害・新型コロナ対策に 関する調査報告書（2021.6自然災害研究協議会近畿地区 部会・地域防災実践型共同研究チーム）	人と防災未来センター 寅屋敷 哲也氏
2月	《ITBO-関西支部共催企画Ver3》 メインテーマ：with/afterコロナをどう生き抜くか	ITBO-関西地域勉強会共催
3月	《災害情報研究会》 「災害情報研究会コロナ対応モデル」について	災害情報研究会座長 市川 啓一氏
4月	災害時のトイレ対策	まいにち株式会社 岩佐博文氏、久保信広氏
5月	江崎グリコのリスクマネジメント取組みについて	江崎グリコ 飯田 清人
6月	集客施設の危機管理取組みについて	関西地域勉強会 大舘 伸行氏

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 地域勉強会活動について（2021年6月～2022年9月）

開催	テーマ	講演者・世話人
7月	疑問、困りごと相談会	関西地域勉強会メンバー
8月	学校に関するリスク管理について	乃亜フレンドリー・ネットワーク 田中 実氏
9月	大学のBCP策定について	学校法人 常翔学園 別役 慎介氏
10月	OTネットワークのセキュリティ対策	京セラ株式会社 野原 英則氏
11月	災害時のIT活用について	インフォコム株式会社 徳山 英治氏
12月	2022年度振り返り、忘年会（予定）	関西地域勉強会メンバー

（以降の予定）

リスクマネジメントについて

災害時の法律問題について

災害時のお金の話（融資・補助金・保険・・・）について

ワーキンググループの活動発表

他

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

## ◆10月：「合同勉強会」

### マスコミ関係者が災害発生時にどのように報道を心がけているか

講師：福本晋悟氏 MBS毎日放送アナウンサー、  
阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター特別研究調査員、防災士



福本晋悟氏（ふくもと しんご） MBS毎日放送アナウンサー

- 災害時における報道機関の役割：①報道機能と②防災機能
- 緊急報道には災害直前期と災害発生期がある。
- 災害特番基準について
- ハード面（映像、カメラ、ヘリなど）とソフト面（マニュアル・コメント集など）の備え
- 災害報道訓練（大地震想定）を実施、毎日短時間訓練も実施
- 冷静な報道が重要、パニックにはいけない⇔安心感を与えてもいけない。
- 災害報道の方法は更新、進化している
- 災害情報をめぐる課題：センセーショナルリズム、映像優先主義、集团的過熱報道、クローズアップ効果、一過性、報道格差、中央中心主義など
- こんなことを考えて仕事、研究をしています。  
住民の防災のためにできることをすることが使命  
地域を知っている地元局の力を発揮したい  
ともに創り上げ、育て、思いを共有した報道を行う

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# ◆11月：オンライン訓練-関西支部版Ver3 事業継続編

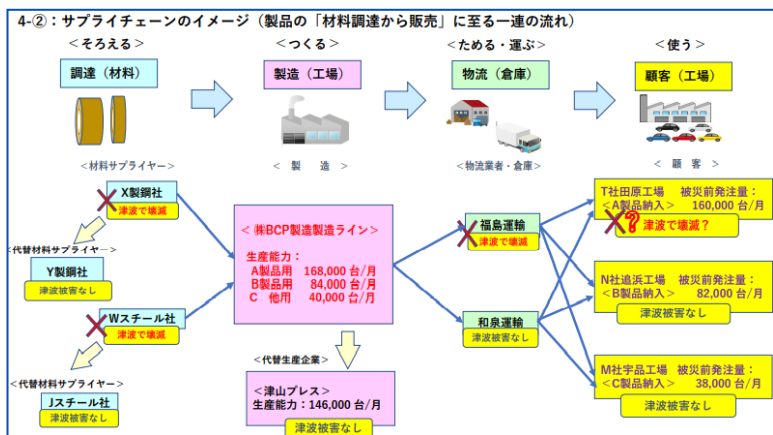
## 企画・進行：関西地域勉強会 梅田浩史氏、オンライン訓練プロジェクトメンバー

- ・コロナ禍でのオンライン訓練のあり方
- ・訓練の企画者に対する注意、ポイントを提示  
⇒「自分で企画するBCP訓練勉強会」WGへ発展

第1回目：初動対応訓練  
 第2回目：緊急対応訓練  
 第3回目：事業継続対応訓練



1. 事業継続対応演習について
  2. 演習の概要
  3. 演習対象の「仮想企業」について
  4. 演習内容（事前情報）
  5. 演習の進め方
- ➡ 訓練実施



### 付与情報（前半提示分）

1. 対策本部長より、Wスチール社、X製鋼社両社とも被災概要の連絡があり、両社とも工場が津波で壊滅し、復旧の目的が立たない模様
2. 資材確保のため、サプライヤーの被害甚大の報告を受け、本部長より大至急Y製鋼社、Jスチール社に発注をかける準備を急ぐように指示があった
3. 田原工場壊滅の報告があったが生産活動については言及がなかった。優先度1位はA製品であるが顧客がいなくなる可能性が大。復旧戦略を変更する必要があるのか、悩む
4. X製鋼社の仕入先の鉄鋼商社の情報によれば、神戸港や名古屋港等甚大な被害で当面荷揚げができないとの事、資材不足が起こる事が懸念される
5. M社宇品工場購買担当者より、三日前に納入予定であった福島運輸の5000台がまだ納入されていないとのクレームがあった
6. 和泉運輸と連絡が取れ、地震の被害は結構大きく倉庫内にはかなり品物が散乱しているが、(株)BCP製造の製品は平積みだったため落下等なく無事

### 2)製品B 被災・復旧状況（目標復旧時間：1ヶ月）

製品A・N社品工場	材料調達（サプライヤー）		生産ライン		物流工程			顧客（N社）		製品在庫						
	業者名	被災状況	在庫	生産設備	作業者	業者名	被災状況	車両	納入ルート	納入先（鴻巣工場）	工場	物流倉庫	輸送中	寄先	計	
生産能力（台/月）	-	-	-	①自社ライン=84,000（台/月） ②代替：津山プレス=146,000（台/月）*1	-	-	-	-	-	-	被災前発注量：82,000（台/月）					
被災状況	X製鋼社 工場壊滅・復旧見込み立たず	工場壊滅・復旧見込み立たず	使用不可	プレス機位置ずれや復旧に2週間必要	作業者Yが骨折で作業できず	福島運輸 津波で壊滅	多くの車両が使用不可	問題なし	和泉運輸 被災は軽微	使用可能	問題なし	0	0	1,000	4,000	80,000
復旧対応	Wスチール社 工場壊滅・復旧見込み立たず	工場壊滅・復旧見込み立たず	使用不可			福島運輸 津波被害なし	被災は軽微	問題なし				75,000	0			
全体としての復旧ストーリー	有効在庫数 0.98ヶ月分															

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 地域勉強会の活動について

- ◆1月：近畿圏・上場企業における自然災害・新型コロナ対策に関する調査報告書  
(2021.6自然災害研究協議会近畿地区部会・地域防災実践型共同研究チーム)  
講師：人と防災未来センター 寅屋敷 哲也氏

実施：近畿圏上場企業に対する質問紙調査（約100社）、ヒアリング調査  
内容：災害対策の状況（BCP、事前対策等）、体制・防災の事前対策方法、まとめ

- ・被災経験の活用、未被災企業に対しては被災経験の情報共有が有用
- ・経営的関心の高い目的（経営戦略や環境への配慮など）の取組と防災・事業継続の対策の連動が有用



- ◆2月：ITBO研究会-関西地域勉強会 合同勉強会Ver3  
企画・運営：ITBO研究会有志、関西地域勉強会有志

メインテーマ：「with/afterコロナをどう生き抜くか：この1年で進まなかったこと」

- ①危機管理戦略のアップデート、BCPの議論について
- ②コロナ禍のビジネス変容について

(役割) 司会：関西地域勉強会 飯田、ITBO研究会 加藤  
ファシリテーター：ITBO研究会 大塚



# 地域勉強会の活動について

## ◆3月：災害情報研究会「災害情報研究会コロナ対応モデル」について

講師：災害情報研究会 市川 啓一氏

- \* 新型コロナ対応モデル作成の背景・位置づけ
- \* 表の内容、作り方について
- \* 表の使い方について
  - ・ 社会の動きに自社がどう対応したかを整理
  - ・ 次の感染症流行に迅速・適切に対応できる
  - ・ 担当者が変わっても、モデルを参考に対応可能

The screenshot shows a presentation slide titled "BCAO災害情報研究会 新型コロナ対応モデル (2021年4月版, 2021年10月改訂版)". The slide contains a table with columns for months from 2020年12月 to 2022年7月. The rows represent different business activities, with some cells containing detailed text about how the company responded to the pandemic during those periods.

## ◆4月：災害時のトイレ対策

講師：まいにち株式会社 営業部 岩佐博文氏、久保信広氏

### (1) 災害時のトイレ事情について

- \* 災害用トイレの市場、災害現場のニーズ
- \* 企業以外のトイレ備蓄 \* 携帯トイレの活用

### (2) 製品紹介

- \* 携帯トイレ
- \* テント、プラダントイレ、長尺トイレレットペーパー
- \* アートトワシ

事業継続推進機構  
関西支部 勉強会  
～災害時のトイレ編～  
まいにち株式会社 マイレット事業部  
2022.04.20



※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 地域勉強会の活動について

## ◆5月：江崎グリコのリスクマネジメント取組みについて

講師：江崎グリコ株式会社 飯田 清人

1. リスクマネジメント体制・取組み
2. BCMの取組み：BCP、訓練・研修
3. コロナ対応

## ◆6月：集客施設の危機管理取組みについて

講師：関西地域勉強会 大館 伸行氏

1. リスク管理体制
2. Covid-19対策（1）ゲスト対応（2）社内対策
3. 防火防災関連  
（1）防火防災優良認定（2）防火防災体制  
（ファシリティオーナー制度、防災委員会委員会）  
（3）自衛消防体制
4. 各種訓練対応  
（1）火災、安否確認、大規模災害、アトラクション事故、  
テロ対策、普通救命救急講習（AED：パーク内100台強  
設置）、パーク・クローズ後の大規模災害事故訓練等実施
5. 最近気になるリスク  
津波・内水氾濫、無差別殺人・放火、人手不足への対応



※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 地域勉強会の活動について

## ◆7月：疑問、困りごと相談会

企画・運営：関西地域勉強会 運営委員



BCに関する困りごと、疑問についてグループディスカッション  
グループセッション50分、まとめ10分、発表・質疑30分  
(Aチーム) BCPの重要性をどう伝えるか、介護における事業継続  
(Bチーム) BIAの進め方、使いやすいBCP策定支援ツールについて

## ◆8月：学校に関するリスク管理について

講師：乃亜フレンドリー・ネットワーク 田中 実氏

1. 学校防災事例紹介
  2. 新型コロナ対策
  3. 学校防災マニュアル
  4. 地域の災害と対策を知る
- (課題)

- ・学校は地域防災の活動拠点にもなることから、行政機関と連携した体制づくり必要
- ・防災に関する教職員の意識改革とハード面の整備

**学校防災**

BCAO関西支部  
勉強会資料  
2022.8.24

**目次**

- 1.自己紹介
- 2.はじめに
- 3.学校防災事例紹介1
- 4.学校防災事例紹介2
- 5.新型コロナのこと
- 6.学校防災マニュアル
- 7.地域の災害と対策を知る

・大阪府教育庁委嘱学校防災アドバイザー  
・日本防災士会大阪府支部副支部長  
兼泉州ブロック長  
・乃亜フレンドリーネットワーク 代表  
田中 実

学校防災アドバイザー 田中実



※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 自分で企画するBCP訓練勉強会<JKBK>活動紹介

<勉強会立ち上げの背景> - 2021年度に「オンライン訓練」を実施した

2021.5.19 オンライン初動対応訓練（発災直後）

2021.9.15 オンライン緊急対応訓練（発災6時間後）

2021.11.17 オンライン事業継続対応訓練（発災3日後）

<目的>

組織で使える訓練アイデアを目指して、訓練を企画する側が使えるような訓練手法やツールを示す

<結果>

本活動で行ったオンラインシミュレーション訓練は、訓練を企画・評価・改善するための負担（ノウハウ・工数含め）が大きい。本手法では、自社独自の訓練活動の継続は、相当難しい。

<考察>

訓練を自社独自で継続的に実施するには、新たなアイデアが必要では？

# 自分で企画するBCP訓練勉強会<JKBK>活動紹介

<勉強会の名称>自分で企画するBCP訓練勉強会<JKBK>

<勉強会発足の目的>自組織で企画運用できる訓練手法を検討する。

<勉強会のテーマ>

- 短時間で成果の上がる訓練はないか？
- 準備に時間がかからない訓練のやり方は ないか？
- 現場でやりたいけどできないことを持ち寄り、みんなで解決策を考える。
- 少ない人数で実施できる訓練はないか？
- なるべく様々な業種で使えるような訓練手法はないか？ 等適宜検討します。

<勉強会のモットー>

- 勉強会活動を楽しむ事
- メンバーは、自分の生活のペースでできる範囲で活動に協力する。
- 何も準備できていなくても、活動には参加して自分の考えを述べ、活動に協力する。
- 人の意見は、自分とは違った意見でも、しっかり耳を傾ける。(相手を尊重する)
- 一緒にやりたい人が出てくれば、「エブリバディウェルカム」でいこう！

自分で企画するBCP訓練勉強会<JKBK>メンバーリスト

No.	氏名	所属
1	梅田浩史	リスクマネジメントオフィス梅田
2	鷲山能雄	YWBCConsulting
3	野原英則	京セラ株式会社
4	柳父行二	セカンドカード研究所
5	萩原正五郎	萩原 都市・建築 計画事務所
6	寺岡純子	合同会社カサージュ
7	福島猛	福島経営研究所
8	松下浩基	株式会社DACS
9	柳本成朗	株式会社サニコン
10	大下英紀	カンケンテクノ株式会社

# 懇親会について

＜地域勉強会の会場＞  
大阪市中央公会堂、  
大阪産業創造館など



## 地域勉強会の懇親会



## WGの懇親会



皆様の参加をお待ちしております！



特定非営利活動法人  
事業継続推進機構  
関西地域勉強会

A Specified Non-Profit Japanese Corporation  
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)